

あの店この店



「CABEL」

編集スタッフ

フィリピンの大統領官邸であるマラカニアン宮殿。宮殿の正面に位置する CABEL は、かつてマニラタイムズ創業者一族が所有していた邸宅をリノベーションしたレストランです。

オープンは 2023 年と新しいものの、現オーナーのキング・カベル・モレノ氏が古き時代のレシピに忠実でありたいという思いから伝統的なフィリピン料理を提供しています。



また CABEL には、ルソンの医師であったキング氏の祖父とミンダナオ南部スル出身の教育者の祖母が大切にしていた信念が、キング氏の手によって受け継がれています。それは「**他者を助け社会へ貢献すること**」。

手編みのコースターや籐の椅子、シンプルで真っ白なテーブルクロスなどのレストランの内装品は地方の職人から、野菜や果物はキアポの小さな業者から仕入れています。

更に、発表の場をなかなか与えられない芸術家に発表の場を与えることで支援したいとの思いから、店舗2階はギャラリーとして一部を無償で貸出しており、フィリピン人の生活感や温もりの感じられる絵画やオブジェを楽しむことができます。

大人数での会食に利用可能な個室の調度品も加えると、さながら私設美術館のよう。まるで隠れ家のようなレストランで、アートに囲まれた優雅な時間を楽しんでみては。



【店 名】 CABEL

【住 所】 1153 JP Laurel cor. Aguado Street
San Miguel, Manila

【電話番号】 0915-214-8565

【営業時間】 8:00-20:00(土日祝含む)

【WEB サイト】 www.facebook.com/bycabel.ph/

【料 金】 税込・サービス料別

【個 室 等】 個室あり

【駐 車 場】 あり

※2階ギャラリーは無料で開放中。

■ AMPALAYA SALAD P350

ビタミンCたっぷりのゴーヤをメインにトマト、赤玉ねぎを甘めのココナッツ酢で和えたさっぱりとした味わいのサラダ。ゴーヤの緑とトマトの赤のコントラストが鮮やか。



■ TIYULA ITUM P450

レモングラスで香味をつけた牛肉の煮込みスープ。黒コショウと唐辛子がスパイシーで大人の味わい。後味はスッキリとしている。



■ PIYANGGANG MANOK P450

グリルした鶏肉をココナッツミルクとターメリックのソースで和えた一品。しっとり柔らかく調理された鶏肉は旨味が凝縮され、子どもでも食べやすい。



■ HUMBA P900

塩味の利いた豚肉とバナナの煮込み料理。発酵させたブラックビーンを入れることで、マイルドでコクのある一品に仕上げている。一緒に煮込んだバナナの花は、筍のような食感。



■POMPANO WITH SAMBAL P750

揚げたポンパノ（マルコバン）にサンバルソースを添えて。辛いイメージがあるサンバルソースですが、こちらは意外にマイルド。小骨もなく、身も取り分け易い。



■LOCON ALA ZAMBOANGA P650

（今回はバターガーリックでソテー）

大き目サイズの揚げたエビはクリスピーで、頭から食することができ満足感あり。ナッツやネギをアクセントに使ったバターガーリックソースは白ご飯が進む味付け。



■CAKE（日替わり） P300

ナッツとケーキの生地がしっかりとした古風なケーキ。大きくカットされているので、数人でシェアしても。



■LECHE FLAN P220

コンデンスミルクの甘みが広がる、濃厚で口当たりなめらかなプリン。

■KNICKER ICE TREAT P250

バニラアイスにトロピカルフルーツをトッピングし、イチゴソースで仕上げたデザート。



足を延ばして…

レストランCABEL周辺は古いお屋敷などが立ち並ぶ趣深い通りです。お食事のあとのそぞろ歩きで新たな発見があるかもしれません。

前ドゥッテルテ大統領政権下では、マラカニアン宮殿のKalayaan Hall（カラヤアンホール）という建物を博物館として使用し、一般開放していました。現在のマルコス大統領に交代してからはここでも紹介した現職の大統領を紹介するバハイウナグナンと過去の大統領の偉業を紹介するテムスマンションを博物館として使用しており“Malacañang Heritage Mansions”の見学ツアーとして展示を楽しむことができます。更に、敷地周辺にある建造物の幾つかを見学できます。



■博物館の開館の曜日及び時間■

- ・開館日 火曜日～日曜日（月曜日、祝日は閉館）
- ・ガイド・ツアーを予約の場合は、午前9時と午後1時の1日2回。少なくとも3日前までには、予約が必要。（予約は <https://museums.gov.ph>、MAX25 人/ツアー）
- ・ガイドなしのウォーク・インでの見学の場合には、午前10時と11時に入館、午後2時、3時、4時に入館。
- ・ガイド付きツアーも、ウォーク・インでの見学も無料です。
- ・子供は5歳以上のみ入館可能

・Teus Mansion Presidential Museum (テウス マンション)



Teus Mansion Presidential Museum (テウス マンション)は、1847年にフィリピンに到着した無一文のバスク人、ヴァレンティン テウス イリサリにちなんで名付けられました。ヴァレンティンはラム酒の製造で知られるタンドゥアイ蒸留所を設立したことで知られ、この邸宅に家族とともに長年住んでいました。1970年代後半に、子孫が元大統領夫人のイメルダ・R・マルコスに寄贈したことで国家の所有地となりました。現在は歴代の大統領の功績がわかるパネルや記念品が展示されています。

ツアーへ参加する場合はHPから事前に予約が必要ですが、見学のみの場合は予約不要です。編集部がお伺いしたときは、平日でしたが1組の団体客と数組の来訪者を見かけました。館内は迷彩色を来た軍隊の方が警備されていましたが、とても気さくでちょっとした質問なら答えて頂けました。

・ Bahay Ugnayan (バハイ ウナグナン)



Bahay Ugnayan (バハイ ウナグナン) は、現職の大統領を紹介する博物館です。この歴史ある建物は第二次世界大戦直前に実業家にして政治家でもあったマドリガル家から政府に寄贈されたもの。

クラシカルな建物の中には、マルコス大統領の写真や着用品、そして出生時から現在に至るまでの半生を解説したパネルがずらりと並びます。もちろんパネルの最後は大統領選に勝利したときの写真。大統領が身近に感じられる空間です。

「Ugnayan (ウグナヤン)」とはタガログ語で理解するという意味。この博物館は現職大統領の情報を国民に提供し、国民に政策の理解を求める目的があるといいます。

ノースリーブとサンダルでの入館は不可、予約不要となっています。

・National Shrine of Saint Michael and the Archangels
(通称サンミゲル教会)

サンミゲル教会は、1603年にマニラのパコ（旧称ディラオ）のイエズス会によって建てられました。深い青色の天井と前庭にある悪魔を征服する聖ミカエルの大きな像は必見です。

この教会でフェルディナンドE. マルコス大統領とイメルダ夫人は結婚式を行いました。



一説には、イエズス会とフィリピンのカトリック信徒が徳川幕府によって迫害されていた信徒を保護しており、キリシタン大名である高山右近などの封建領主が1614年に約300人の日本人クリスチャンのグループをフィリピンに導きました。

フィリピンに到着した日本人のほとんどが侍であったため、教区は悪魔の軍勢と戦う天使軍の長、聖ミカエルにちなんで名付けられたということです。



!!注意!!

マラカニアン宮殿は2024年3月
時点で一般公開していません。